

2019年度目録委員会記録 No.2

第2回委員会

日時：2019年7月13日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、安食、石澤、木村、谷口、鴫田、藤井、村上（一）、村上（遥）、横山
<事務局>三浦

[配布資料]

1. 2019年度第1回JLA目録委員会記録（案）（3ページ-A4、村上（遥）委員）
2. 今後の委員会活動に向けてのメモ（2019.7.13）（3ページ-A4、渡邊委員長）
3. 全国図書館大会について（2019.7.13現在）（2ページ-A4、渡邊委員長）
4. 出版企画のお願い（5ページ-A4、日本図書館協会出版委員会）
5. NCRの将来像に関する検討メモ（2ページ-A4、谷口委員）
6. 和古書・漢籍に関して（2ページ-A4、木村委員）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認

2019年度第1回の記録（資料1）について、確認を行い、確定した。

2. 増刷・正誤表対応

第3刷対応の作業については、滞りなく終了した。7月1日に冊子体第3刷が納品され（奥付の日付は7月10日）、7月5日にPDF版修正分と「第2刷正誤表」をホームページに公開した。

[検討事項]

1. 全国図書館大会について

資料3に基づき、全国図書館大会について検討を行った。

- ・ 全国図書館大会当日までのスケジュールを確認し、発表の構成と内容について、検討を行った。

2. 手引きの出版企画について

資料4に基づき、日本図書館協会出版委員会より依頼のあった「日本目録規則2018年版活用の手引き」の出版企画について、検討を行った。

- ・ 出版を前向きに検討することとする。

3. 今後の質問、誤り等への対応について

担当者を置いて管理していくことについて、検討を行った。

4. IFLA LRM、RDA ベータ版の把握について

今後のIFLA LRM、RDA ベータ版の把握の方策について、検討を行った。

5. NCRの将来像について

資料5に基づき、今後のNCRの位置づけにかかる方針、NCR公開の方式等について、検討を行った。

- ・ 将来的に NCR は完結した目録規則ではなく、RDA の「日本版適用細則／適用方針」の位置づけとし、また、公開の方式としてはウェブ版を主とすべき、という提言があり、意見交換を行った。
- ・ 「著作」の設定基準について、国内機関間での調整を目録委員会が行う等、NCR の実装支援への関与についての提言があった。

6. 和古書・漢籍に関して

資料 6 に基づき、和古書・漢籍に関する規定について、検討を行った。

- ・ 調査の結果、NCR は和古書・漢籍のデータ作成の標準とはなっていない、という状況から、NCR2018 の和古書・漢籍の条文はいったん凍結し、別途メタデータ作成のための詳細な手引きを作成したのち、NCR2018 の関連条文を削除しては、という提言があった。
- ・ 現状は、NCR1987 にあった和古書・漢籍関連条文を移植しただけの状態であることを確認し、意見交換を行った。

7. データ作成事例集について

今後進めていくべき課題として、データ作成事例集について検討を行った。

次回以降の委員会の予定

9月7日（土）

10月12日（土）

以 上